

詳説世界史講義
2026年・48講

ゆきおの世界史

「ゆきおの世界史」について

〈世界史BIBLE掲示板〉… yukiobible.com

〈佐藤幸夫YouTubeチャンネル〉… 代ゼミ授業用

〈ユーテラ:ゼロから世界史〉… 授業予習用

そして、2026年世界史関連講義についての動画

- ①年間スケジュール(夏期・冬期なども含む)について
- ②週間ルーティーン(予習・復習)について
- ③歴史総合について
- ④関連書籍について
- ⑤入試情報について

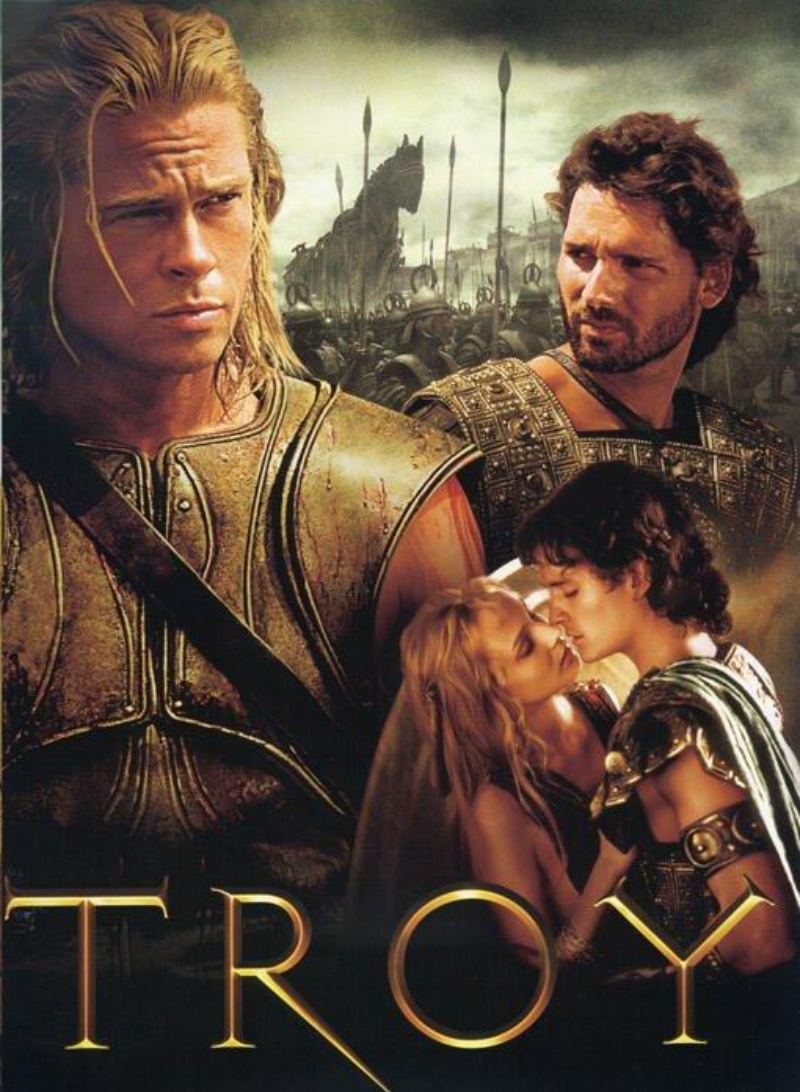
2026年分
4月10日前後に
配信予定
(URLはHPに掲載)

詳説世界史講義①

～2026年～



第1講 ギリシア世界の盛衰



映画『トロイ』



トロイアの木馬

④ 3つのエーゲ文明

*クレタ文明（ミノア文明）（前20～14c頃）

- ① ① 宮殿 <ミノス王>
② (英) の発掘
- ② 海洋・平和的
- ③ 絵文字・線文字A (未解読)
- ④ アカイア人侵入で破壊

*トロイア遺跡（前15～12c頃） *第7層

- ①小アジア西北部－ ⑥ (独) の発掘
②トロイア戦争 (⑦ 『イリアス』『オデュッセイア』)

⑧ポリスの成立・発展（前8c～）

前12c～：暗黒時代〔初期鉄器時代〕（→前8C：⑧→ポリス成立）＊アクロポリスとアゴラ

前8c～：貴族政治（平民も私有地〔クレーロス〕を持つ） ＊「人間はポリスの動物である」

- ①同胞意識（ ⑨ と ⑩ ・デルフォイの神託・オリンピアの祭典・オリンポス12神）
②植民市建設（ ★1 ） ＊ファランクス（長槍密集隊形）

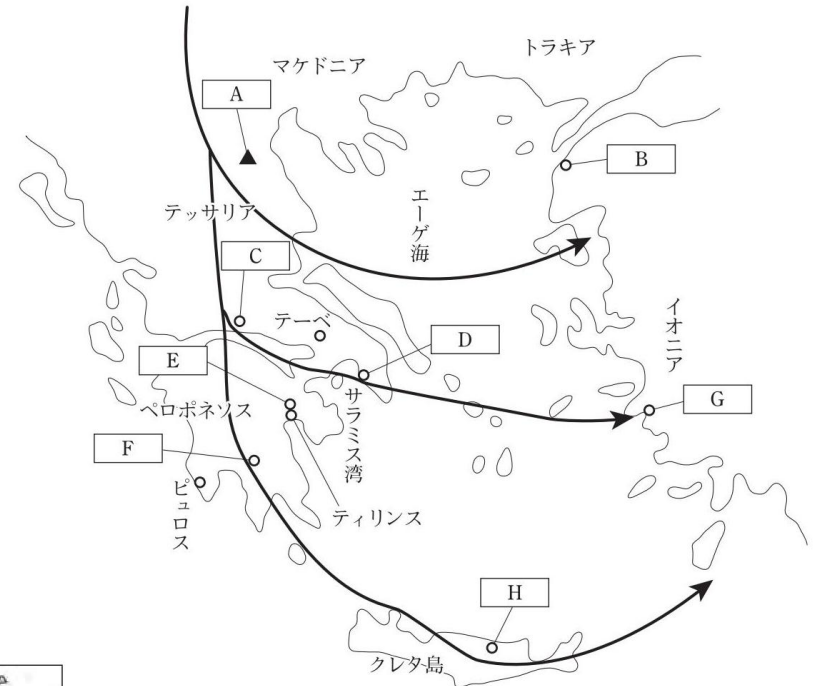
*ミケーネ文明 (前16～12c頃)

- ①ミケーネの獅子門，ティリンス，ピュロスなど
③（農作物を税とする）
 ②城塞・戦闘的
 ③線文字B－④（英）の解説
 ④⑤の侵入で破壊 ※諸説あり

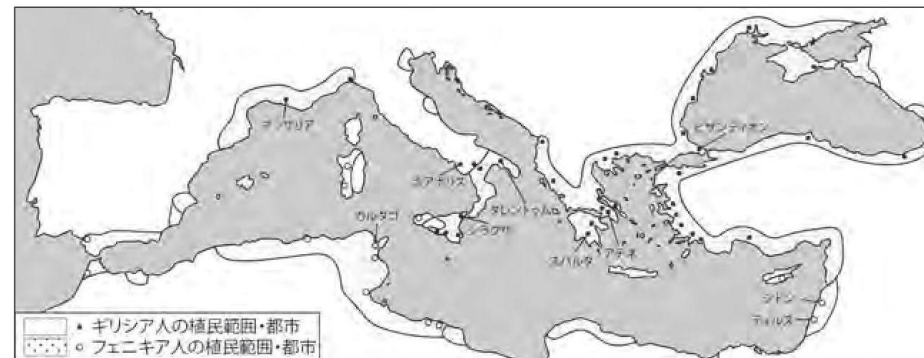


第2波ギリシア人〔3方言群〕南下（前12c頃）
（アイオリス・イオニア・ドーリア人）

■古代ギリシア要図



■ギリシア人・フェニキア人の植民活動







デルフォイの神託

㉔アテネの政治変遷（＊スパルタと比較）

- ①前621： 11 の立法 ＝ 貴族政治慣習法の成文化・刑罰は厳しい
 ②前594： 12 の改革 ＝ 財産政治・債務奴隷の禁止
 ③前561： 13 の改革 ＝ 僭主政治・中小農民を保護 tyrannos ⇨ tyrant
 ④前508： 14 の改革 ＝ 民主政治の基礎

a：陶片追放（オストラキスモス） b：4部族制（血縁）⇒10部族制（地縁共同体〔デーモス〕を基礎）

㉕ペルシア戦争（前500～449）

背景）フェニキア人 × ギリシア人

原因） 15 植民市反乱（×ペルシア王 16 がギリシア人に重税を課す）

前490： 17 の戦い〈ミルティアデス × 16〉

前480：テルモピレーの戦い〈レオニダス × クセルクセス1世〉

〃： 18 の海戦〈 19 × クセルクセス1世〉 ※ 20 の建造

前479：プラタイアの戦い〈パウサニ阿斯活躍〉⇒ミュカレ岬の海戦

結果）前478： 21 結成⇒前449：カリ阿斯和約（ギリシア世界の勝利）

㉖ペリクレス民主政完成（前443～429）

- ① 22 （18才以上男子自由民）・民衆裁判所（陪審員）なども抽選（将軍職は除く）
 ②奴隸制 ③直接民主制 ④ 23 ・ 24 には参政権なし

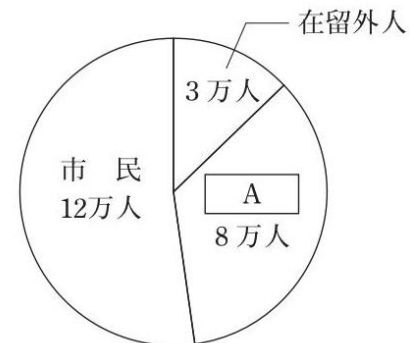
＊弾劾裁判の実施（法治主義の原則）

＊市民権の資格は両親が共にアテネ人であることで与えられた。

＊歴史家トゥキディデス「その名は民主政であっても、実質は第一人者による支配である」

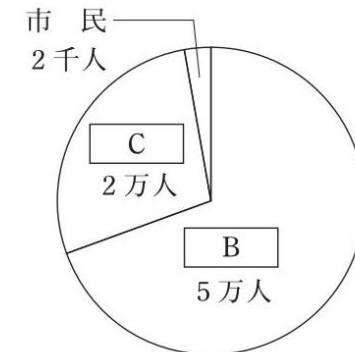
■アテネ・スパルタの人口構成

アテネの人口構成



- ・ D
- ・ F 的
- ・ H 軍
- ・ J 人

スパルタの人口構成



- ・ E
- ・ G 的
- ・ I 軍
- ・ K 人



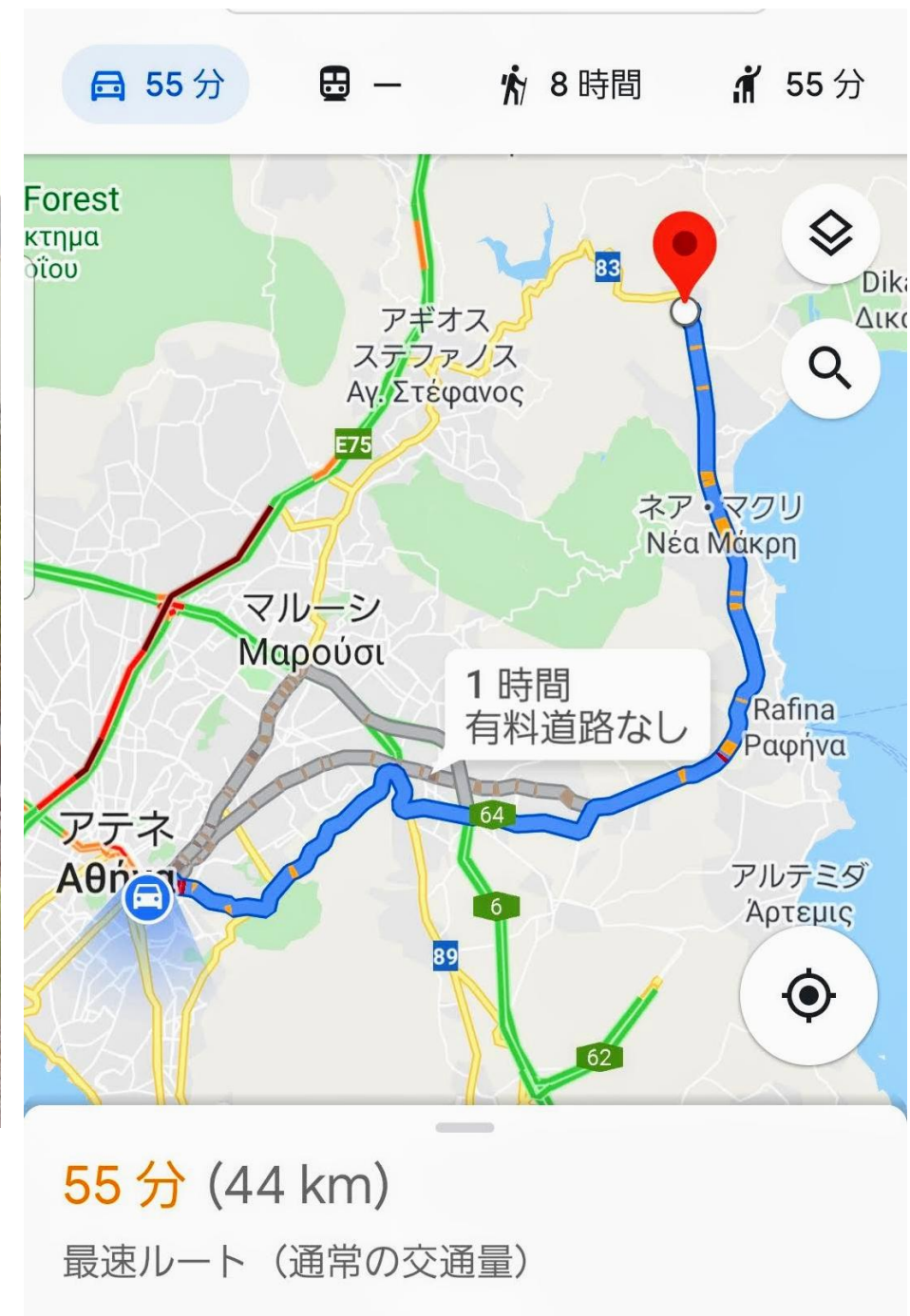
近代オリンピック
マラソンルート



マラトンの塚



マラトン博物館





パルテノン神殿(アテネ)



エルギン・マーブル
(大英博物館)

㊦ギリシア = ポリス社会の内乱・崩壊

原因) デロス金庫をアテネが流用 (= _____ ★ 2)

① ㉔ 戦争 (前431 ~ 前404)

(デロス同盟 [アテネ中心] × ペロポネソス同盟 [スパルタ中心])

前429: ペリクレスの病死 → アテネ没落 (*市民皆兵 → 傭兵制 & 衆愚政治へ) ※この結果, ポリスが衰退したという旧説は支持されず, ポリス自体は存続した。

② レウクトラの戦い (前371) - テーベ <エパメイノンドス> × スパルタ

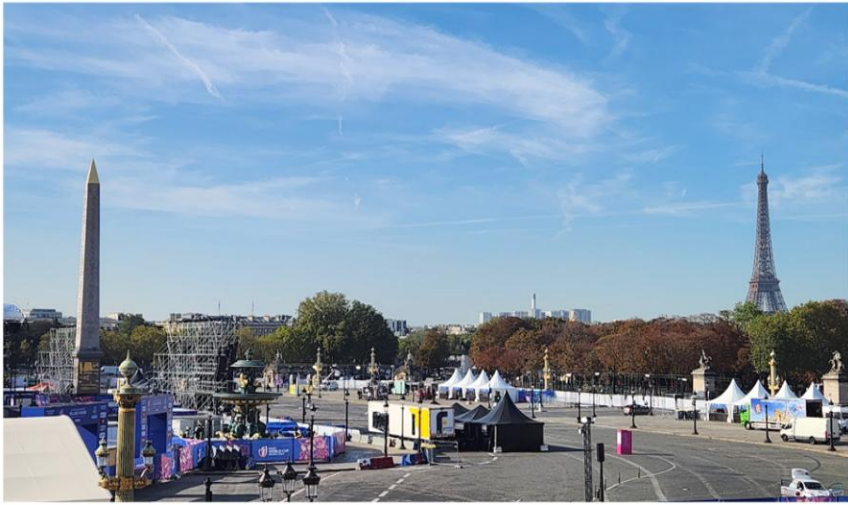
③ ㉖ の戦い (前338) - マケドニア <国王 ㉗ >

× アテネ <将軍デモステネス>・テーベ連合軍

④ ㉘ (前337) 結成 - マケドニアが盟主 (= ギリシアを支配下に *スパルタ除く)

▼ペルシア戦争などの地図





第1講

オリエント世界の形成



カプサイシンアイス



死海で浮く



イスラエル博物館



ハンムラビ法典

①メソポタミア（“肥沃な三日月地帯”）〈※ブレストッド〉

- ① ① 人・ウル第1王朝（前2500）…ウルク、ラガシュなどの都市国家
- ・ギルガメシュ叙事詩・階級社会・ウルのスタンダード・楔形文字（粘土板）・六十進法・太陰暦
 - ノアの ② 伝説：『旧約聖書』のもとに → ローリンソンらの解説

- ② ③ 人（前24c頃）
- ・サルゴン（1世）による史上初のメソポタミア統一

- ③ ④ 人・ウル第3王朝（前22～21c頃）
- ・ウルナンム法典（最古） ・ジググラト（聖塔）

- ④バビロン第1王朝（古バビロニア：前19c初め）

a： ⑤ 人建国 b：バビロン最高神：マルドゥク神 c：太陰太陽暦

d：ハンムラビ } 前文+282条, ⑥ 美術館蔵, スサで発見（1901～02）, ⑦ 文字で刻む
法典 } 特色) ~~~~~★1

e：1週7日制・占星術（シュメールに始まり、バビロニアで確立）

☆オリエント



- ・オリエント（「日が昇るところ」）……エジプト、アナトリア、シリア、メソポタミアとその周辺
- ・「肥沃な三日月地帯」……シリアとメソポタミア、早くから農耕が開始

▼メソポタミアの統一



▼バビロン第1王朝



❖ハンムラビ法典

〔第196条〕もしアウィールム^{※1}が〔別の〕アウィールムの眼を失明させたならば、彼らは彼の眼を失明させるべし。（中略）

〔第198条〕もし彼〔アウィールム〕がムシュケーヌム^{※2}の眼を失明させたならば、彼は銀1マヌーを〔賠償金として〕支払うべし。

※1 自由人もしくは貴族階級を指すと考えられる

※2 王宮に隷属する半自由民もしくは平民階級

⑧インド＝ヨーロッパ語系の侵入（前1700頃） ＊近年，②③はこの語族系から外されている

① ⑧ 人（都：ハットゥシャ〔現在はボアズキョイ〕）－アナトリア（小アジア）

a：⑨ を征服 b：鉄製武器・馬・戦車の使用

c：カデシュの戦い（×エジプト新王国〈⑩〉） ＊最古の国際条約（前1286）

d：海の民の侵入で滅亡

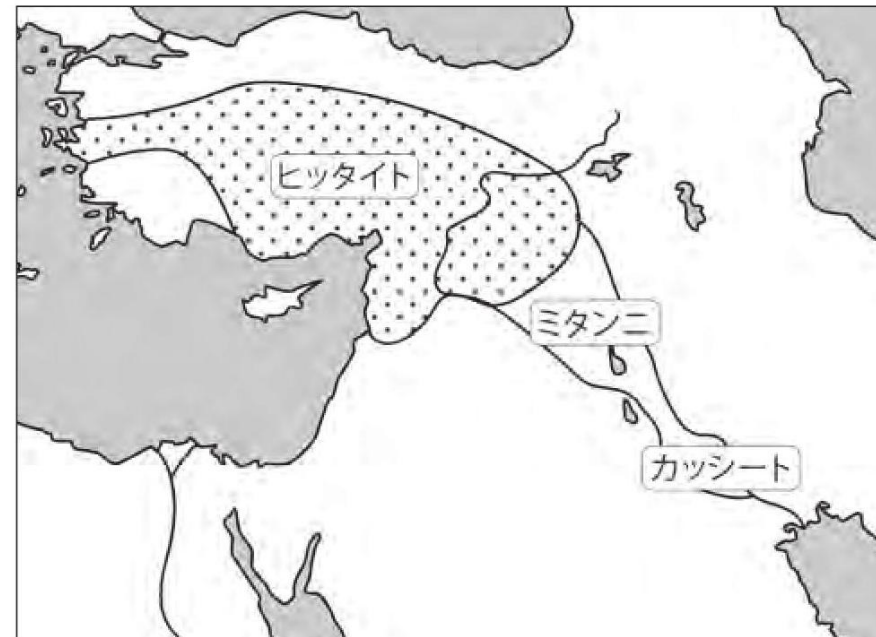
② ⑪ 王国－北メソポタミア

a：フルリ人の国家（一時，アッシリアが服属） b：アッシリア人の自立で，後に併合された

③ ⑫ 人－南メソポタミア

a：バビロン第3王朝（←ザグロス山地より侵入） b：アッカド語を使用 c：エラム人により滅亡

▼バビロン第1王朝の滅亡後にメソポタミアへ進出した諸民族

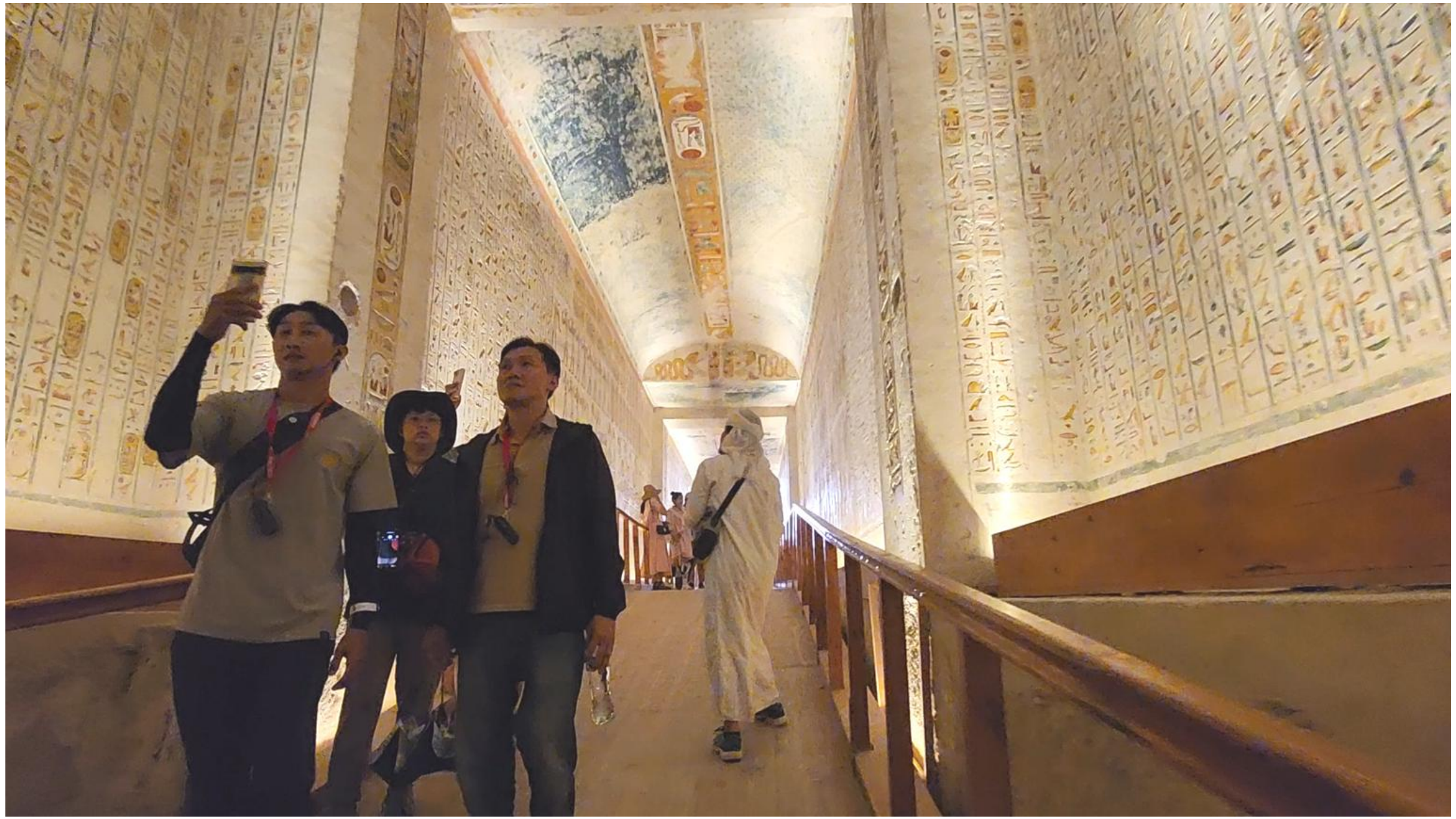


42名 21頭



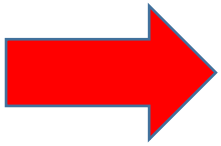






王家の谷
ある王の墓の中

誰のお墓？





ツタンカーメン

アブシンベル神殿





ラメス(ラムセス)2世の大神殿

カデシュの戦い



◎エジプト（“エジプトはナイルのたまもの”）〈㊦ヘロドトス〉

①ナイル川…白ナイル（ヴィクトリア湖より）と青ナイル（エチオピア高原より）がスーダンで合流

→ 恒星シリウスの現れとナイルの氾濫の規則性 → ㉓ (1年365日) を考案

②統一王朝の成立（前3000～27c）…アレクサンドロス大王征服まで30王朝

上22 + 下20 の ノ モ ス を 統 一 * 神としてエジプトを初めて統一した王：ホルス神

第1王朝：メネス王… “ ㉔ ” と自称, “太陽神 ㉕ の子” とされる

③古王国（前27～22c） 都）メンフィス [3～6王朝]

第4王朝： ㉖ , カフラー, メンカウラー王 (in ギザ) ※スフィンクス

* ピラミッドの種類（マスタバ～階段ピラミッド～三大ピラミッド）

③中王国（前22～18c） 都）テーベ [11～12王朝]

末期 → ㉗ (アジア系・馬・戦車をもたらす) 侵入・支配 [第15王朝建設]

④新王国（前16～11c） 都）テーベ [18～20王朝] ※最大版図はトトメス3世

a : アメンヘテプ4世 = アマルナ改革（宗教改革）… “ ㉘ ” と自称

㊦ ㉙ ⇨ 唯一神アテン ㊦ 新都 ㉚ へ遷都

㊦ アマルナ美術（自由・写実的な新傾向文化） 例：ネフェルティティ像（アメンヘテプ4世の妃）

b : ツタンカーメン = カーター（英）による発掘（1922）, ㉙ 神復活

c : ラメス2世 = 征服王, “出エジプト” ? の迫害者

・ ㉛ の戦い（前13c初：×ヒッタイト王ムワタリ）… 現シリア北部

・ ㉜ 神殿（アスワン＝ハイダム建設で1964～68年に移転）

⑤末期王朝（前11c～前30年）～ ㉝ 朝エジプトまで

▼古代エジプトの都市



★ エジプト } ㊦ オベリスク（太陽神を奉る） ㊦ 『 ㉞ 』（オシリス神） ㊦ パピルス
文 化 } ㊦ ㉟ = ストーン（神聖文字・民用文字・ギリシア文字） ㊦ 太陽暦と測地術
… シャンボリオン（仏）の解説

パピルス紙 の作り方





新宿のオベリスク(笑)



オベリスク
(カルナック神殿)